

新年賀緒

新年のごあいさつ

新

年を迎えるにあたり、
町民の皆さんに謹んで
ごあいさつを申し上げます。

昨年は、大阪・関西万博が
世界的な注目を集め、大きな
成功を収めた年でした。多くの
課題や困難を乗り越えたそ
の姿は、私たちも含め、日本
国民に大きな勇気と希望を与
えてくれました。

また、阪神淡路大震災から
30年の節目の年でもあります
た。兵庫県で開催された「創
造的復興サミット」に被災自
治体の首長として私も参加し、
熊本地震の経験と教訓を報告
いたしました。サミットで採
択された「ひょうご宣言」に込
められた「経験と教訓を、未
来をつくる力に変える」との
誓いを、私も胸に深く刻んだ
次第です。

そして本年4月、私たちの
町も熊本地震から10年という
大きな節目を迎えます。一度
の震度7という未曾有の災害
の皆さまにおかれましては、
清々しい新春をお迎えのこと
と心よりお喜び申し上げます。
世界では依然として紛争が
絶えず、複雑な社会情勢にあ
ります。国内においても、長
引く物価高騰や少子高齢化、
地域経済の活力低下など、多
くの課題に直面しております。
このような時代だからこそ、
私たち一人一人が未来への希
望を胸に、力を合わせること
が不可欠です。

さて、本町では熊本地震か
らの創造的復興が着実に進展
しております。「県道熊本高
森線」は、広崎から惣領まで
の区間が供用開始され、残る
区間も令和8年3月末の全
線供用開始を目指して工事が
進捗しております。全線開通
の晩には、交通の利便性が飛
躍的に向上し、町内外との交

謹

んで新年のごあいさつ
を申し上げます。町民

の皆さまにおかれましては、
清々しい新春をお迎えのこと
と心よりお喜び申し上げます。

世界では依然として紛争が
絶えず、複雑な社会情勢にあ
ります。国内においても、長
引く物価高騰や少子高齢化、
地域経済の活力低下など、多
くの課題に直面しております。
このような時代だからこそ、
私たち一人一人が未来への希
望を胸に、力を合わせること
が不可欠です。

さて、本町では熊本地震か
らの創造的復興が着実に進展
しております。「県道熊本高
森線」は、広崎から惣領まで
の区間が供用開始され、残る
区間も令和8年3月末の全
線供用開始を目指して工事が
進捗しております。全線開通
の晩には、交通の利便性が飛
躍的に向上し、町内外との交

に直面し、首長として幾多の
困難や厳しい判断に迫られ、
心が折れそうになつたことも
一度や二度ではありません。

しかし、今日こうして復興の
確かな歩みを実感できるのは、
ひとえに町民の皆さまの復興
に向かう強い思い、そして全
国からの温かいご支援、職員
の懸命な努力のたまものであ
り、改めて心より感謝申し上
げます。

昨年は、公共施設復旧の集
大成となる「地域共生セン
ター」が開所し、復旧
事業は大きな区切りを迎えま
した。新たな交通拠点「木山
交通広場」や都市計画道路「益
城東西線」の一部開通も実現
し、町の新たな骨格が着々と
形づくられています。

さらに、「益城中央被災市
街地復興・土地地区画整理事業」
では宅地引き渡しが半数を超
え、復興のシンボル「県道熊
本高森線4車線化事業」も、
と確信しております。

これからも町民の皆さまと
心を一つにし、この町のため
に全身全霊で駆け抜けてまい
る所存です。



熊本地震から10年 さらなる町の発展に向けて

益城町長 西村博則

町の未来を開くため 町議会一丸となりまい進する

益城町議会議長 荣正敏

